

宇治市『のぞみ鍼灸整骨院』
伊勢田

被災地支援の花満開

ひまわり里親プロジェクト

ヒマワリの花で被災地復興を呼びかける『福島ひまわり里親プロジェクト』に、宇治市伊勢田町中山「のぞみ鍼灸整骨院」（小川由智院長）が協力。福島町の畑で約400本のサンフラワーが満開となっている。

送られる種はハイブという品種で1袋（50リットル入り）500円。

東日本大震災で原発事故にも見舞われた福島県において、土壌から放射能物質を吸収する植物として注目されている「ひまわり」を、復興の足掛かりにしようというのが同プロジェクト。

福島市の半田真仁さんが県内の若手経営者や農家に呼びかけ、全国にヒマワリの種を送って育ててもらい、そのヒマワリから獲れた種を再び福島に集め、復興のシンボルとなる花畑を作ろうとしている。



のぞみ鍼灸整骨院スタッフの温かい気持ちも宿るサンフラワー

袋の作成や発送作業は震災で仕事を失った福祉作業所などに依頼。注文することが被災者支援にもつながるなど「雇用」「絆」「忘れない」という様々な思いが込められている。

そして、このプロジェクトに素早く賛同したのが「のぞみ鍼灸整骨院」。チャリティーマッサージ施術費用を義援金として被災地に送金する活動も行っており、今回は福島町の川北義治さんの好意で土地を借り受け、ヒマワリ栽培に取り組んだ。

同院スタッフの温かい気持ちも宿る満開の花々から、もうすぐ約3万個の種が獲れる。

このヒマワリは今から秋にかけても栽培可能。里親希望者は〒960-8053・福島県福島市三河南1-20・コラッセ福島6階・福島ひまわり里親プロジェクト事務局（TEL024-529-5153）まで問い合わせを。ホームページは同プロジェクト名で検索できる。